

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	マニュアルの作成やAED、心肺蘇生法、緊急時の対応の講習は学習会等で行っているが、実際の急変時に十分な対応ができるか、職員に不安がある。	事故に対する対応を再確認し、実際の急変時に素早く、的確に対応できるように学習し備える。	講習会、勉強会、ミーティング等への参加、マニュアルに目を通しいざという時に備えを怠らないようにしていく。	6ヶ月
2	45	入浴を楽しむことのできる支援。	入居者様一人ひとりに合わせ、気持ちよく入浴して頂ける様に支援する。	季節感の感じるお風呂や、色々な種類、香りも楽しめる入浴剤などを使用し、時間帯も考慮し気持ちよく入浴できるように対応する。	6ヶ月
3	42	口腔内の清潔保持。	毎食後、全員が口腔ケアの習慣化を目指し、口腔内の清潔保持に努める。	口腔ケアの重要性を再確認して、毎食後の口腔ケアの習慣化を目指す。	6ヶ月
4	41	食事摂取量や水分確保、食事を楽しむことのできる支援。	摂取量や水分量が一日を通して摂取できる様、一人ひとりの状態に合わせた支援を行う。食事が楽しみな時間になるように好みや、季節感等を考慮していく。	旬の食材、個々の好みを取入れたたり、食事時間も入居者様に合わせ、主食、おかゆ等、量等も対応する。買い物や調理など可能な限り一緒に行っていく。	6ヶ月
5	25	申送りや記録内容の統一化。	申送りや記録等のスタッフ同士の確認を行う。	申送り前の記録の確認を行い、お互いに理解した上で結果だけでなく経過や理由、予測等も付加える。気付きを共有できるようにし、学んでいく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。